

戯曲講座「せりふ書いてみる？」

# 受講生作品 リーディング公演

- 作／平成16年度戯曲講座受講生
- 構成・総合演出／永山智行
- 企画・制作／三股町立文化会館

2004年、門川と宮崎と三股ではじめて開催された戯曲講座「せりふ書いてみる?」。この講座で生まれた作品のうち、三股で生まれた6作品をリーディング作品として上演します。

### 「戯曲」って？

演劇の台本は、文学的な分類としては「戯曲」と呼ばれます。詩や小説にも劣らない美しい言葉や物語性などが、「戯曲」の中にはたっぴりと詰まっています。

### 「リーディング」って？

欧米では古くから行われてきた上演形式で、俳優が椅子に座り台本を読みます。多くの場合は装置もなく、声によってすべてが表現されるので、観客は自由に想像力を膨らますことができます。

## Program 紅～アカ

上演時間：約90分

### 『湖』 [作:有住はるな]

演出／黒木朋子(劇団220)  
出演／安楽和寿、滝浅泰典、徳留良昭、中村洋子  
幸恵、佐藤友有子(以上劇団220)

### 『リプレイ』 [作:古賀トウエ]

演出／上元千春(劇団こぶく劇場)  
出演／中村芽・徳留春香・鈴木聡美・米沢明  
(以上都城商業高校演劇部)  
清水明日美・岩切成美(以上都城西高校演劇部)

### 『ナスカ』 [作:なかまだみお]

演出／永山智行(劇団こぶく劇場)  
出演／あべゆう、山村悠、濱砂崇浩、永山智行  
(以上劇団こぶく劇場)

## Program 翠～ミドリ

上演時間：約90分

### 『ふゆのすいれん』 [作:サトオカサイ]

演出／永山智行(劇団こぶく劇場)  
出演／神水流しん子、ゆの、中崎友紀、中窪由唯、山室晋吾  
(以上劇団25馬力)、濱砂崇浩(劇団こぶく劇場)

### 『幻の青いケン』 [作:政野龍城]

演出／宮島慎吾(フリー)  
出演／あべゆう、山村悠、濱砂崇浩(以上劇団こぶく劇場)  
宮島慎吾

### 『オーブ』 [作:kuska]

演出／蛸原達朗(劇団SPC)  
出演／森英子、渡邊真美、高田美香、檜山明子  
能勢玲王、伊藤宗之(以上劇団SPC)

# 日時／6月19日(日)

■ プログラム紅／13:30～

■ プログラム翠／16:30～

(開場は開演の20分前です)

◎料金：[一般] プログラム紅／¥1,000(当日1,200円) ※中学生以上  
プログラム翠／¥1,000(当日1,200円) ※中学生以上

[セット券] プログラム紅・翠／¥1,500(当日1,700円)

全席自由

### ◇上演終了後のおまけ 「ポスト・パフォーマンス・トーク」

各回の終演後、作家と演出家、さらに出演者を交えてそれぞれの「戯曲」について語りあいます。この際、訊いておきたいアノことや、ガツンと言っておきたいコノこと、そんなもやもやをお持ちのみなさんは是非どうぞ。

# 新人劇作家6人。演出家5人。俳優28人。 お気に入りのきつここに……。

例えば、お気に入りのシャツやバッグ、スニーカー、アクセサリー……。そんなものを持つように、お気に入りの小説や詩、音楽、映画、などを持つことは、その人生をきつと豊かにしてくれることでしょう。

今年2月、三股町に6人の新人劇作家が生まれました。はじめて行われた戯曲講座で、受講生6人が6つの作品を書き上げたのです。

そして今度はその6つの作品を、5人の演出家と28人の俳優がリーディング形式で上演します。

まるでカタログを眺めるようなこの公演で、お気に入りの劇作家、演出家、俳優をぜひ見つけてください。きつと、その分だけ、人生が豊かになるはずですから。

永山智行(戯曲講座講師・総合演出・劇団こふく劇場)

## P R O F I L E



有住 はるな  
Haruna Uju

ヘルパー業の傍ら「紙一重」をつくり演劇活動。2002年、仕事を辞め東京から星のきれいな宮崎の田舎に移住。「福」話術師のひよこ。



古賀 トウエ  
Toue Koga

演劇好きが興じて今回の戯曲講座に参加。現在、高校生として高校演劇に参加中。



なかまだ みお  
Mio Nakamada

劇団こふく劇場旗揚げに参加。数本に出演の後、失踪。再び宮崎演劇界に舞い戻る。



サトオカ サイ  
Ai Satoooka

小林市在住。小林市の劇団25馬力に所属しています。



政野 龍城  
Ryoki Masano

1951年、福岡県生まれ。大学中退後、週刊誌記者を経て「英字週刊誌」と契約。報道カメラマンとしてアジア各国を取材。病気で倒れ、宮崎に帰省。NPO法人(老人介護)を設立、現在に至る。



Kuska  
Kuska

静岡市出身。三股町在住。公文式指導者。作詞や音楽・絵画が趣味。知的障害者のバンド「カーニバル」総合プロデュース。

### 劇団こふく劇場

1990年4月、活動をはじめ。以後、永山智行の作品を中心に、福岡や東京でも公演を続け、『空の月、胸の石』(1995)、『北へ帰る』(1996)は、それぞれ日本劇作家協会優秀新人戯曲賞の最終候補作となる。2002年には、『やがて父となる』で、東京国際芸術祭リージョナルシアターシリーズに参加した。

現在、宮崎県内の二つの公立文化施設(三股町立文化会館と門川町総合文化会館)を拠点とし、幅広く活動を続けている。<http://www.cofuku.com/>

### 劇団220

1984年に旗揚げし20年を迎えた。現在宮崎市内で、20代から40代の20人ほどで活動。昨年12月に第19回公演「GOOD MAN!」を上演。コメディタッチの作品を中心に年一回のペースで公演している。<http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~k-ken/index.html>

### 劇団25馬力

全国優勝の小林青年演劇隊を母体として、2001年5月に旗揚げ、以後小林市を中心に活動をはじめ。これまでの公演作品に、『one』(2001年:作・柚木よう子/演出・岩崎小愛)、『カレーの王様』(2001年:作・演出 岩崎小愛)、『だから、笑って』(2002年:作・演出/神水流知美)、『檻(三部作)』(2002年/作・柚木よう子、じんこ、ザ・ゴールデンズ)、『しやわせの近道』(2003年:作・ゆの)、『教室』(2005年:作・門田博三 演出・宮島慎吾)などがある。現在、より地域に密着し、幅広い世代で演劇を楽しむ事を目的に活動中。<http://miyazaki.cool.ne.jp/gekidan-25bariki/>

### 劇団SPC

毎年公演を地道に行ってきた宮崎市内のアマチュア劇団。初演は1983年『もう一人の君へ』(如月小春作)。団員は創立時のメンバー(今だ数名現役!)から20代の新人までかき集めれば15名前後いるはずだ。

作品のジャンルとしては『わかりやすく楽しめる作品』をやっております。なぜなら、小難しい作品は団員が理解できないからです(笑)。過去、ミュージカル作品にも挑戦したこともあります(爆)。近年はコメディ路線にも挑戦し「目指せ!ドリフターズ」を合言葉に頑張りました。詳しくは劇団のHPをご覧ください!  
<http://gekidanspc.fc2web.com/>

### 都城西高校 演劇部

都西演劇部(通称、劇団「毛☆不思議(ケミステリー)」)には先輩がいません。昨年1年間は演劇について何も分からない者同士「あ〜でもない」「こ〜でもない」とおたおたしながらも、和気あいあいと活動してきました。そして、4月にはかわいい1年生が3人も(?)入部してくれました。ちょっぴり先輩面した2年生7名と、まだまだ初々しい1年生3名(中にはすでに初舞台(?)を経験済み……)の計10名で今年も楽しく活動していきます!Enjoy Myself☆

### 都城商業高校 演劇部

3年生3名に今年有望新人1年生2名が入部し、計5名で、顧問の犬塚先生、矢崎先生の指導のもと高校演劇活動中。高校総合文化祭演劇コンクールでは昨年『扉〜思い出のクワイチロウ君へ』で3年連続奨励賞受賞。03年『オリオンは高くうたう』02年は『ハイスクール忠臣蔵討ち入り』を上演。高校演劇だけでなく、地域の演劇活動にも意欲的に参加している。4月に行われたシアターフェスティバルでは「別役実の大人のための童話集朗読とチェロの生演奏とのコラボレーション」を発表した。少ない人数だけど個性的な演劇をめざしている。